

令和6年度 第3回 社会教育委員の会議

日 時：令和6年12月19日（木）午後7時～
場 所：学びの里「めいりん」ランチルーム

○教育理念唱和

1 開会あいさつ

2 議 題

- ・社会教育委員の会議と生涯学習推進会議の統合について

☆令和6年度生涯学習フォーラム

開催日 令和7年2月16日（日） 午後1時30分～

会 場 学びの里「めいりん」講堂

3 報 告

- ・福井県社会教育委員連絡協議会リーダー研修会について

開催日 令和6年11月18日（月）

会 場 上志比文化会館 サンサンホール

参加者 各市町から51名

☆令和7年度は大野市会場 → 候補日：令和7年8月5日（火）

4 その他

- ・大野ならではの公民館の活かし方市民検討委員会（仮）の推薦

5 閉会あいさつ

大野市民憲章

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と雪国特有のねばり強さで、今日の繁栄を築いてきました。

わたくし
私 たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目ざして、市民憲章を定めます。

ひとつ

1. みずみずしさあふれるまちに

わたくし
私 たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

ひとつ

2. 小さな芽が伸びるまちに

わたくし
私 たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

ひとつ

3. 大きくはばたくまちに

わたくし
私 たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

ひとつ

4. あたたかい心のかようまちに

わたくし
私 たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

ひとつ

5. 明るくやすらぎのあるまちに

わたくし
私 たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

(昭和53年10月告示)

*細字の部分は首唱者が読み上げます。太字の部分を全員で唱和してください。

大野市教育理念

明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

わたくし
私 たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

平成21年3月 大野市教育委員会

明倫（めいりん）とは

大野藩第7代藩主土井利忠（1811～1868年）は、藩の政治や経済の建て直しには、新しい知識を学んだ人材が必要であるという考えに基づき、弘化元年（1844年）に藩校「明倫館」を開設しました。

明倫館の「明倫」という言葉は、「皆人倫を明らかにする所以なり」に由来し、人の生きる道を明らかにすること、すなわち、人として守り、行うべき道を明らかにすることを指しています。

明倫館は、当時としては珍しく、武士の子弟に限らず、広く一般家庭の子どもたちにも門戸を開いて学ばせていました。そして、ここで育った人材は、大野藩の商業や鉱業などを盛んにし、藩財政の再建に大きく貢献したと言われています。私たちは、この史実に基づいて、大野の教育の全てを貫く普遍の理念を「明倫」と定めます。

*教育理念本文は首唱者が読み上げます。太字の文章（宣誓文）を全員で唱和してください。

令和6年度 大野市社会教育委員名簿（任期R6.7.1～R8.6.30）

役職	氏名	ふりがな	推薦団体	区分
副委員長	飯田 賢治	いいだ けんじ	大野市老人クラブ連合会	学識経験者
	山口 明美	やまぐち あけみ	大野市文化協会	学識経験者
	下口 真砂代	しもぐち まさよ	大野市小中学校校長会	学校教育関係者
	桑盛 善一	くわもり ぜんいち	大野市子ども会育成連合会	社会教育関係者
委員長	佐々木 正祐	ささき まさすけ	大野市生涯学習人材活用事業登録指導者会（ますみ会）	社会教育関係者
	杉山 昌一	すぎやま しょういち	大野市壮年団体連絡協議会	社会教育関係者
	松田 幸貴	まつだ こうき	大野市生涯学習推進会議	社会教育関係者
	嶋 遥	しま はるか	大野市PTA連合会	家庭教育関係者

（区分ごとに五十音順）

所属	役職	氏名
教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	課長	ささき しんじ 佐々木 伸治
	課長補佐	やまだ あきひろ 山田 明弘